

ピアノ&トランペット

～本格だけど、気軽なクラシック～

Piano

Trumpet



ピアノ
しらいし みつたか
白石 光隆



トランペット
たかみ のぶゆき
高見 信行

©岩切等

2019年 1月26日 土

開演 14:00 (開場 13:30)

プラム・カルコア太宰府 (太宰府市中央公民館)
市民ホール 太宰府市観世音寺1丁目3番1号

料金 一般 1,000円 高校生以下 500円 全席自由

※未就学児の入場不可。 ※チケット完売の場合、当日券の販売はありません。

チケット発売日 2018年12月12日(水) 10:00～

チケット取扱い ●太宰府市いきいき情報センター(休館日: 12/26、12/28～1/4)
●プラム・カルコア太宰府(休館日: 月曜日、12/28～1/4)

スペシャルコラボ サウンズ オブ ダズ Sounds of DAZ



演奏曲目
ラグランド / You Raise Me Up (共演: Sounds of DAZ)
ベートーヴェン / 「わが心うつろになりて」の主題による
6つの変奏曲 ト長調 WoO.70 (ピアノソロ)
テレマン / トランペット協奏曲 二長調 ほか

太宰府市文化スポーツ振興財団 文化スポーツ振興事業について

平成28年度から、市民への文化およびスポーツの振興をさらに進めるため、「太宰府市文化スポーツ振興財団 文化スポーツ振興事業」としてプラム・カルコア太宰府市民ホールを使用した各種公演や、市内の各地域・施設に向いて教室等を開催するアウトリーチ形式の事業、スポーツ体験の催し等を行っています。

史跡のまちの

音楽隊



ラジオ体操



スポーツ体験



演劇公演



おんかつ(公共ホール音楽活性化事業)とは

(一財)地域創造の助成のもと、オーディションで選ばれた国内外で活躍するアーティストと(公財)太宰府市文化スポーツ振興財団が協力して、本物の音楽をみなさまにお届けする事業で、今回実施する「公共ホール音楽活性化支援事業」は、この“おんかつ”の継続事業です。太宰府市内の学校や施設・地域にアーティストが直接出向き、生演奏と音楽のすばらしさを身近で体感できる「アクティビティ」と本格的な「コンサート」をホールで実施します。クラシック音楽に接する機会がない方々にも、“本物の音楽”を身近に感じていただける内容となっています。

白石光隆 ピアノ



東京藝術大学附属高等学校を経て、東京藝術大学、同大学院を修了。1989年ジュリアード音楽院へ進む。1990年ジーナ・バッカウアー国際奨学金コンクール入賞。1991年学内におけるコンチェルト・コンペティションで優勝し、リンカーンセンターでジュリアード・オーケストラと協演。1992年帰国。1994年第63回日本音楽コンクール声楽部門において、優れた日本歌曲の演奏に贈られる木下賞(共演)受賞。ソロ室内楽、協奏曲等、音楽性の高さには定評があり、内外の共演者の信頼も厚い。特筆すべきはその生き生きとした、圧倒的なリズム感と構築性、そして独自の宇宙を感じさせる微細なまでに磨かれた美しい音である。またレパートリーが広く、邦人、現代作品など分野を問わず才能が遺憾なく発揮されている。NHK-BS、NHK-FMなどにも多数出演。(一財)地域創造の公共ホール音楽活性化事業などの活動では全国を巡り、子どもたちへの教育プログラムにも積極的に取り組む他、後進の指導やさまざまなコンクールの審査員も務める。1年間の活動の集大成として、毎年定期的に東京で開催するソノリサイタルは2018年9月で31回を数える。意欲的なプログラムとさわやかなステージも魅力的な、数少ない実力派である。CDは『レグルス回路』、『109』、『大指揮者のピアノ曲』、『作曲家ムラヴィンスキー』、『ベートーヴェンピアノソナタ集Vol.1&2』、『成田為三ピアノ曲全集』(文化庁芸術祭レコード部門優秀賞・2007)、『サティ・作品集I&II』はいずれも好評で、『ピアノによるルロイ・アンダーソン』は、アンダーソン遺族より賞賛を受けている。2014年2月『ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」』、『くつろぎのピアノ〜音楽療法ベスト』をリリース。ピアノを金澤桂子、故・高良芳枝、故・伊達純、小林仁、マーティン・キャンソンの各氏に、室内楽をフェリックス・ガリミア、伴奏法をジョナサン・フェルドマンの各氏に師事。現在、東京藝術大学、お茶の水女子大学非常勤講師。

高見信行 トランペット



東京藝術大学音楽学部を経て、ハンス・アイスラー音楽大学(ベルリン)及び、ロストック音楽大学大学院を最優秀にて修了し、ドイツ国家演奏家資格取得。第75回日本音楽コンクールトランペット部門第1位、第19回日本管打楽器コンクールトランペット部門第2位受賞。ソリストとしてライプツィヒ中央ドイツ室内フィル、東京フィル、神奈川フィル、岡山フィルなどをはじめ、国内外のオーケストラと度々共演。MDR(中部ドイツ放送)交響楽団、ライプツィヒ歌劇場管弦楽団(首席)にてトランペット奏者として在籍。その他、ベルリン・フィル、ベルリン州立歌劇場、ベルリン響、ゲヴァントハウス管などでも活動。また、サイトウ・キネン、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト、東京藝大シンフォニア英国公演、別府アルグリッチ音楽祭、PMF、シュトゥットガルト国際パッハアカデミーなど国内外の音楽祭にオーケストラメンバーとして参加。福武文化財団より第9回文化奨励賞(2008年)、エネルギー文化スポーツ財団より第23回エネルギー音楽賞(2017年)受賞。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団、横浜シンフォニエッタ各団員、(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト、洗足学園音楽大学非常勤講師。
<http://conmoto.jp/takami/Bio.html>

Sounds of DAZ

結成18年を迎えた太宰府市を中心に活動しているゴスペルクワイア。10代~70代まで老若男女、大家族のような約50名が所属。太宰府市近郊のイベント出演や毎年9月にJR博多駅前広場で開催されている「九州ゴスペルフェスティバル in 博多」に5年連続出演する他、熊本や山口などでもコンサートを行うなど活動の幅を広げている。2018年11月宮城県仙台市「仙台ゴスペルフェスティバル」への出演およびグランドフィナーレステージでもパフォーマンスを披露予定。また、ゴスペル楽曲を中心にポップスや童謡などジャンルを問わず、病院やデイケアなどでもライブを開催。ハートフルなパフォーマンスでみなさまに元気をお届けします!
http://music.geocities.jp/sounds_of_daz2000/

交通機関のご案内

●西鉄ご利用の場合

- 西鉄太宰府線「五条駅」下車 徒歩約7分
- 西鉄大牟田線「都府楼前駅」下車
駅前のまほろば号バス停から市役所方面へ「太宰府市役所」下車 徒歩約2分

●お車ご利用の場合

- 九州自動車道「太宰府インター」から約5km(約10分)
- ※駐車台数には限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

